

ALL JAPAN EV-GP SERIES 2022 ROUND 3

第3戦 | 全日本 袖ヶ浦 EV 55kmレース大会

2022年6月26日(日) 雨天決行 袖ヶ浦フォレストレースウェイ

主催: 日本電気自動車レース協会 (JEVRA)

大会後援: 東京中日スポーツ



災害用
充電車

T救号

普段はEV充電車、緊急時には電源車に!!

～仕様により様々なアジャストが可能です～



■車両スペック

車両	日野デュトロ(N04C)
搭載発電機	HMG (hybrid magnetic generator) × 3基
発電機搭載箇所	追加コンプレッサー取付部×1基・フライホイールPTO部×2基
発電機出力容量	DC300V—50A 15kVA (発電機1基あたり)
搭載バッテリー	東芝製 SCiB 2P12S × 10 個直列
バッテリー容量	DC300V—40A 12kVA
Total 出力容量	DC300V—190A 57kVA (発電機3基+バッテリー)
搭載充電器	DCJ503D4AUF(デルタ電子製)・True-G50(Milla-E50 菊水電子工業製)
出力電圧	DC12V / DC24V / DC300V / AC100V / AC200V(3φ) ※出力電圧は仕様により任意に変更可能

東洋電産株式会社

東洋電産株式会社 愛鷹テクノセンター
〒410-0301 静岡県沼津市宮本 243 番 7
TEL:055-929-0511

シリーズ・チャンピオン・チーム 最高額1,680万円!!

「2023 ALL JAPAN EV-GP SERIES」開催のご案内

日本電気自動車レース協会(JEVRA)は、2010年に地球温暖化防止と電気自動車(EV)産業発展及び優秀な人材育成を目的に設立し、2023年で14シーズン目を迎えます。

昨今の地球温暖化が原因と思われる台風の巨大化や自然災害の拡大など、地球規模で気候変動への懸念が深まっている中、JEVRAでは、この現状を少しでも改善する為に“環境に優しいモータースポーツ”である「EVレース」を通じて二酸化炭素(CO2)の削減とEV産業の開発スピードを加速させるために“開発支援金”を支給することで微力ながら地球温暖化防止に向けての活動を支援して参ります。

以上の趣旨により「ALL JAPAN EV-GP SERIES」を開催しますので、ご賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

■ レース日程	全7戦(日程調整中)						
■ 開催場所	岡山国際サーキット 袖ヶ浦フォレストレースウェイ 富士スピードウェイ 筑波サーキット スポーツランドSUGO ツインリンクもてぎ ※2戦開催地有り						
■ 競技規則(予定)	「2022 全日本 電気自動車グランプリ シリーズ競技規則」に準ずる						
■ レース距離	50Km～80Km(予定)						
■ 参加車両	電気自動車(EV)／水素電気自動車(FCV) ※ハイブリッドは参加不可						
■ 参加料	① DEVELOP CLASS (開発支援金支給対象) ※チーム登録制(ドライバー変更可) 40万円／1大会 × 7大会 = 280万円(税別) ※2023年1月9日～31日までに一括でお支払い頂いた先着30台まで ② ENTRY CLASS (支援金支給対象外) ※ドライバー登録制(ドライバー変更不可) 5万円(税別)／1大会 ※毎レースお支払い頂きます						
■ 開発支援金 (シリーズ総合のみ)	参加台数	5台(例)	10台(例)	15台(例)	20台(例)	25台(例)	30台(例)
	1位	¥2,800,000	¥5,600,000	¥8,400,000	¥11,200,000	¥14,000,000	¥16,800,000
	2位	¥1,400,000	¥2,800,000	¥4,200,000	¥5,600,000	¥7,000,000	¥8,400,000
	3位	¥1,050,000	¥2,100,000	¥3,150,000	¥4,200,000	¥5,250,000	¥6,300,000
	4位	¥700,000	¥1,400,000	¥2,100,000	¥2,800,000	¥3,500,000	¥4,200,000
	5位	¥560,000	¥1,120,000	¥1,680,000	¥2,240,000	¥2,800,000	¥3,360,000
	6位	—	¥980,000	¥1,470,000	¥1,960,000	¥2,450,000	¥2,940,000
	合計	¥6,510,000	¥14,000,000	¥21,000,000	¥28,000,000	¥35,000,000	¥42,000,000
※参加台数により開発支援金額は変わります。							

※参加台数により開発支援金額は変わります。

100kW
2出力同時充電

世界標準
OCPPスマート
チャージング

小型化による
設置面積の削減と
コストの低減



新製品

EV/PHEV用 100kWDC充電器 EVHJ104シリーズ

- 最大定格出力100kW
- 世界最小・最軽量クラスの省スペース設計
- CHAdeMO、CCS1/CCS2に対応可能
- 決済・クーポン発行サービス「EZQC」対応
- クラウドサービス対応



サービス
エリア



駐車場



充電サービス
ステーション



商業地域



運輸・輸送
ハブ

デルタ電子株式会社

〒105-0012 東京都港区芝大門2-1-14 TEL:03-5733-1111
<http://www.delta-japan.jp> e-mail: jpmarketing@deltaww.com

 **DELTA**
Smarter. Greener. Together.

2022 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 袖ヶ浦 EV 55Km レース大会

ROUND 3

MESSAGE

開催のご挨拶



日本電気自動車レース協会 (JEVRA)

理事長 関谷 正徳
Masanori Sekiya

日本電気自動車レース協会 (JEVRA) は、地球温暖化防止と電気自動車 (EV) 産業発展および優秀な人材育成を目的に 2010 年 3 月に設立して 2022 年で 13 シーズン目を迎えました。地球規模で温暖化によると思われる環境破壊が進む中で、「環境に優しい EV レース」を通じて「地球温暖化に対する意識改革」を推進致します。

また、SDGs (目標 13/ 気候変動に具体的な対策を) の達成に向けた取組みも重要で、気候変動は国境のないグローバルな大きな課題です。気象パターンは変化し、海面は上昇し、異常気象は益々激しくなり、温室効果ガスの排出量は史上最高水準に達しています。このまま、手を拱いて対策を取らなければ、世界の平均気温は 2100 年までに最大で 4℃ 上昇すると言われております。この危機的な環境に対する意識改革を一日も早く実行して行かなければ、未来ある若者達の未来は悲観的な状況を迎えることになります。

このような様々な難題の解決策として、カーボンニュートラルを目指すこれからの時代は、EV に充電する電力も限りなく「再生可能エネルギー」を使用し、「開発の場」としてのモータースポーツフィールドを活用した EV 開発のスピードアップに貢献出来るよう努め、将来を担う EV 産業の優秀な人材育成にも「EV レース」を通じて教育環境を提供して参りますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

2022 CALENDAR

第1戦	4月23日(土)	55km	筑波サーキット／茨城県
第2戦	5月14日(土)	55km	富士スピードウェイ／静岡県
第3戦	6月26日(日)	55km	袖ヶ浦フォレストレースウェイ／千葉県
第4戦	7月17日(日)	55km	スポーツランド SUGO／宮城県

第5戦	8月6日(土)	60km	袖ヶ浦フォレストレースウェイ／千葉県
第6戦	10月2日(日)	60km	筑波サーキット／茨城県
第7戦	10月16日(日)	55km	モビリティリゾートもてぎ／栃木県

TIME SCHEDULE

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
参加受付 (大会事務局)		EV 50 20									
ブリーフィング			EV 45 15								
車両検査 (車検場)		EV 20 20									
公式予選			EV 15 15								
充電			急速充電器 / 普通充電								
スタート進行									EV 15 10		
決勝									EV 50 23Laps		
表彰式 (34 番 PIT)										EV 25 10	

トラックスケール (車両重量計) の提供をしています。



25

※タイムスケジュールは天候その他の理由により変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

ORGANIZATION

- 開催日 令和 4 年 6 月 26 日 (日)
- 会場 袖ヶ浦フォレストレースウェイ／千葉県
- レース距離 55km (2.436km × 23 周)
- 主催 日本電気自動車レース協会 (JEVRA)
- 組織 理事長 関谷 正徳
理事 舘 信秀
理事 藤本 康孝
理事/事務局長 富沢 久哉
- 大会協賛 株式会社ブリヂストン
住友ゴム工業株式会社
横浜ゴム株式会社
東洋電産株式会社
デルタ電子株式会社
ICC インターナショナル株式会社

- 特別会員 電気自動車普及協議会 (APEV)
EV オーナークラブ (EVOC)
- 大会後援 東京中日スポーツ
株式会社ブリヂストン
住友ゴム工業株式会社
横浜ゴム株式会社
日本道路株式会社
東洋電産株式会社
株式会社繁原製作所
デルタ電子株式会社
ICC インターナショナル株式会社
株式会社日本ヴェーテック
株式会社トムス
株式会社日本製衡所
- 大会協力



日本電気自動車レース協会 (JEVRA)
〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 2-6-30
株式会社 M&T プランニング内
TEL.03 (6411)0092
[ホームページデザイン]
ライオン株式会社
[プログラムデザイン]
デザイン: Tecmag

タイヤは、 雨で選ぼ。

ヨコハマは、雨に強いウェットグリップ性能「a」獲得タイヤが、業界で初めて **380** サイズ ※2022年2月時点 を突破。



※V552には一部「a」ではないサイズがございます。詳しくはカタログ、WEBをご覧ください。



2022 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 袖ヶ浦 EV 55Km レース大会

ROUND 3

ENTRY LIST

エントリー：参加11台

No.	ドライバー	クラス	車 名	電池/容量	モーター出力	タイヤ	エントラント	代表者
1	地頭所 光	EV-1	TAISAN 東大BIR TESLA 3	Li/75kWh	360kW	YH	TEAM TAISAN 東大	千葉 泰常
2	松波 太郎	EV-1	タイサンBIRエレクトライク TESLA3	Li/75kWh	360kW	DL	TEAM TAISAN	千葉 泰常
6	大野 博美	EV-R	千葉県自動車大学校ノート ePOWER	-	80kW	DL	ONO RACING	大野 博美
19	藤田 広一	EV-R	11th チャレンジノート e-POWER	-	80kW	YH	ロンリーレーシング	藤田 広一
30	神八 一也	EV-3	マツダ E&T MX-30	Li/35.5kWh	107kW	BS	株式会社マツダ E&T	中村 浩史
33	TAKAさん	EV-1	適当 Lifeアトリエ Model3	Li/75kWh	360kW	YH	スエヒロ自動車商会	鈴木 淳
35	アニー	EV-1	スエヒロ モデル 3	Li/75kWh	360kW	YH	スエヒロ自動車商会	鈴木 淳
88	レーサー鹿島	EV-2	東洋電産・LEAF e+	Li/62kWh	160kW	YH	東洋電産株式会社	伊藤 晃
104	飯田 章	EV-F	トヨタシステム CNR ミライアキラ R	-	134kW	DL	アキラレーシング	飯田 章
555	廣瀬 多喜雄	EV-R	e-Power オーラ Nismo	-	100kW	YH	OIRAKU RACING	廣瀬 多喜雄
634	水谷 侑司	EV-C	MuSASHiD-REV シビック EVR	Li/40kWh	110kW	YH	D-REV@ 武蔵精密工業	加藤 宣保

[クラス] EV-1=モーター出力251kw以上 / EV-2=151kw以上 251kw未満 / EV-3=151kw未満 / EV-S クラス=SUV車両(出力自由) / EV-C=市販車改造(出力自由) / EV-F=燃料電池車両(FCV) / EV-R=レンジエクステンダー / EV-P=プロトタイプ
[タイヤ] BS=ブリヂストン / DL=ダンロップ / YH=ヨコハマ [電池] Li=リチウムイオン電池

POINT RANKING

	順位	氏 名	Rd.1 筑波	Rd.2 富士	Rd.3 袖ヶ浦	Rd.4 SUGO	Rd.5 袖ヶ浦	Rd.6 筑波	Rd.7 もてぎ	TOTAL
総合	1	地頭所 光	20	20						40
	2	TAKAさん	15	12						27
	3	アニー	12	10						22
	4	レーサー鹿島	8	8						16
	5	松波 太郎	—	15						15
	6	翁長 実希	10	—						10
	7	飯田 章	—	6						6
	〃	鵜飼 龍太	6	—						6
	9	山下 将史	—	4						4
	〃	水谷 侑司	4	—						4
	11	廣瀬 多喜雄	3	1						4
	12	本間 康文	—	3						3
	13	廣瀬 浩明	—	2						2
	〃	小野津 博之	2	—						2
	15	大野 博美	1	0						1

	クラス	順位	氏 名	Rd.1 筑波	Rd.2 富士	Rd.3 袖ヶ浦	Rd.4 SUGO	Rd.5 袖ヶ浦	Rd.6 筑波	Rd.7 もてぎ	TOTAL
EV-1		1	地頭所 光	20	20						40
		2	TAKAさん	15	12						27
		3	アニー	12	10						22
		4	松波 太郎	—	15						15
		5	翁長 実希	10	—						10
		6	小野津 博之	8	—						8
EV-2		1	レーサー鹿島	20	20						40
EV-3		1	本間 康文	—	20						20
EV-C		1	山下 将史	—	20						20
		〃	水谷 侑司	20	—						20
EV-F		1	飯田 章	—	20						20
		〃	鵜飼 龍太	20	—						20
		3	廣瀬 浩明	—	15						15
EV-R		1	廣瀬 多喜雄	20	20						40
		2	大野 博美	15	15						30

1位:20point/2位:15point/位:12point/4位:10point/5位:8point/6位:6point/7位:4point/8位:3point/9位:2point/10位:1point

※同点の場合は優勝回数の多い順/2位以下も同等とするが、それでも同点の場合は最終戦の順位が上位者を優先とする。

DUNLOP

DIREZZA SPORTMAX

Get the Glory!

**2021 SERIES
CHAMPION**
DUNLOP TYRE USER

SUPER GT GT300

井口 卓人 / 山内 英輝

86/BRZ Race

PROFESSIONAL Series

菅波 冬悟

86/BRZ Race

CLUBMAN Series OPEN

塙 瞬佑

All Japan Rally

全日本ラリー選手権

JN1 勝田 範彦 / 木村 裕介

JN2 H.コバライネン / 北川 紗衣

JN4 西川 真太郎 / 本橋 貴司

JN5 天野 智之 / 井上 裕紀子

JN6 吉原 将大 / 佐野 元秀

All Japan Gymkhana

全日本ジムカーナ選手権

JG1 津川 信次

JG5 茅野 成樹

JG8 川北 忠

JG10 織田 拓也

All Japan Dirt Trial

全日本ダートトライアル選手権

JD1 炭山 裕矢

JD2 目黒 亮

JD3 坂田 一也

JD4 北村 和浩

JD5 細木 智矢

JD6 北條 倫史

JD7 山崎 利博

JD9 太田 智喜

JD11 小関 高幸

DUNLOP MOTORSPORT & SPORT TYRE



DIREZZA
03G

DIREZZA
β02

DIREZZA
β10

DIREZZA
ZII

DIREZZA
74R

DIREZZA
88R

DIREZZA
94R

DIREZZA
95R



DUNLOP
MOTORSPORT
WEB SITE



DUNLOP
MOTORSPORT
FACEBOOK



DUNLOP
MOTORSPORT
YOUTUBE

<http://tyre.dunlop.co.jp>

月に一度は空気圧の点検を！

タイヤお客様相談室
0120-39-2788
受付時間 平日(月~金)
9:00~12:00/13:00~17:00

2022 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 袖ヶ浦 EV 55Km レース大会

ROUND 3

環境に優しい 電気自動車(EV)レース

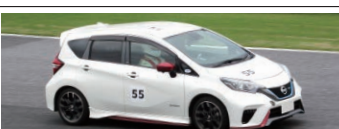
2010年にスタートして13シーズン目を迎えた「日本電気自動車レース協会(JEVRA)」が主催する“地球環境”に優しいモータースポーツがEVレースだ。走行中の二酸化炭素(CO2)の排出をゼロにし、地球温暖化を抑える優しいEVレースは、これからの新しいモータースポーツとして世界中で注目されている。新しい時代を牽引するEVを「レース」というフィールドで競い合うことにより互いの性能を鍛え上げて技術開発のスピードアップと市販車へのフィードバックを目的にEV-GPシリーズは開催される。第3戦は11台による戦いが袖ヶ浦フォレストレースウェイをステージに55Km(23周)で行われる!!

EVによる 8クラスによる戦い

EV-GPシリーズは、今年からクラス変更により、全8クラスに分かれての戦いが行われる。EV市販車クラスは、駆動モーター最大出力による3クラスと昨年から新設されたSUV(スポーツユーティリティビークル)だけによるEV-Sクラスに分かれる。総合優勝争いに一番近いのが、EV-1クラスで251kW以上のポルシェタイカン、テスラモデル3などだ。EV-2クラスは、151kW以上250kW未満で対象車種は日産リーフe+ (160kW)とテスラモデル3のスタンダードレンジプラスの参加でより激しい争いに期待が掛かる! EV-3クラスが151kW

未満で日産リーフ(110kW)やマツダMX-30(107kW)などのエントリーが対象車種となる。EV-Sクラスはモーター出力自由で日産アリア、メルセデスEQC、アウディe-TRON Q4などが対象となり、市販車のエンジンをモーターに転換したEV-C(コンバート)クラス(出力自由)と、開発もしくはレース専用に製作されたEV-P(プロトタイプ)クラス(出力自由)がある。EV-Fクラスは燃料電池車(FCV)と、“エンジンで発電する”EV-R(レンジエクステンダークラス)の走りにも注目したい。以上の8クラスがそれぞれのクラスで勝負を競い合うことになる。

「第3戦」袖ヶ浦ラウンドの見所

EV-1 クラス モーター出力251kW以上	第1・2戦を連覇した昨年のチャンピオンの地頭所光と僅差で2位に入った松波太郎とTAKAさんの3台を筆頭にアニーが操るテスラモデル3の合計4台の争いになるが、混戦を制するのは誰か注目したい!	
EV-2 クラス モーター出力151kW以上 251kW未満	昨年のクラスチャンピオンレーサー鹿島のみ参加だが、どこまで上位に食い込めるかに注目! また、クラス変更によりテスラモデル3スタンダードレンジプラス(211kW)がこのクラスに入るので日産リーフ+との争いに期待したい!	
EV-3 クラス モーター出力151kW未満	マツダMX-30が初めてエントリーしてきたので、神八一也の走りに注目したい!	
EV-S クラス SUV車両/モーター出力自由	昨年から新設された世界中で人気の高いSUV(スポーツユーティリティビークル)クラス車両による走りにも今後は注目したい!!	
EV-C クラス 市販車にモーターと バッテリーに変換した車両	EV-C(コンバート)クラスは、市販車ベースのエンジンをモーターとLiバッテリーに変換させ「EV」に改造した車両による争いになるが、富士大会ではストレートスピードを生かして善戦したCIVICのコンバートで水谷侑司が、どこまで上位争いに食い込んでくるか楽しみだ!	
EV-F クラス 燃料電池車両	“水素社会”を牽引する燃料電池(FCV)車両のトヨタMIRAIにベテラン飯田章が搭乗するので、どこまで上位争いに食い込むか期待したい!	
EV-R クラス レンジエクステンダー	レンジエクステンダーは“エンジンで発電する”新しい発想の車両だ。このクラスの対象は、BMW i3 REXと日産ノート e-POWERの2車種となるが、第1戦の覇者で昨年のクラスチャンピオンの廣瀬多喜雄が初めて「オーラ」を持ち込んできたので大野博美/藤田広一の3名のクラス争いに注目だ!	
EV-P クラス 開発車両もしくは レース専用車両	開発車両/レース専用車両のクラスだが、“未来のEV開発”の為に、カーメーカーからの参戦を期待したい!	

I・C・Cインターナショナルは
お客様のあらゆるニーズにお応えし
電源が必要などんな場所へも最適な電気を供給いたします。



4tタイプ

周波数 50Hz 270KVA
60Hz 300KVA
出力型式 三相3線/三相4線式
出力電圧 100V/200V/400V
〈使用実例〉コンサートツアー、機器展示会



4t特殊無停電電源車

周波数 50Hz 125KVA
60Hz 150KVA
出力型式 単相3線/三相3線/三相4線式
出力電圧 100V/200V
〈使用実例〉CM撮影、スポーツ中継



Smile & Security

笑顔と安心のために



トスネットグループ
I・C・Cインターナショナル株式会社



上記のQRコードからも弊社ホームページにアクセスできます

トスネットホームページ

ICCインターナショナル

検索



限界を楽しめ。

Into The Zone

あきらめることはしない。妥協することもない。私の走りには、高揚と挑戦という私だけの楽しみがある。

競うのではなく、自らの心に挑む。

思い描いていた境界や限界が、溶解していく。そのとき、走る喜びが、全身を駆け抜ける。

スポーティーなドライビングを愛する者だけが知る、至福のとき。

POTENZA。その走りはいま、新しいスポーツの世界を拓く。

POTENZA

さらなる高みに到達した、
プレミアムPOTENZA

POTENZA
S007A



幅広い車種に対応する、
スタイリッシュPOTENZA

POTENZA
Adrenalin **RE004**



最速へのこだわりが生んだ、
リアル・スポーツPOTENZA

POTENZA
RE-71RS



ラップタイム短縮を追求した、
リアル・スポーツPOTENZA

POTENZA
RE-12D
RE-12D TYPE A



株式会社ブリヂストン

【お客様相談室】フリーダイヤル0120-39-2936

受付時間：月～金（祝日および指定休日は除く） 9:00～17:00

www.bridgestone.co.jp

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

JEVRA EV PORTABLE QC SERIES

日本電気自動車レース協会 (JEVRA) では、2010 年から培って来た EV レースの経験を生かした急速充電器の販売を開始しました。



- ▶ 持運び可能なEV用急速充電器です。(電源は別途必要です。)
- ▶ 接続プラグは、日本 (CHAdeMO) / アメリカ (CCS1) / ヨーロッパ (CCS2) / 中国 (GB/T) の規格に対応しています。
※接続プラグはCHAdeMOが付属しておりますが、オプションの接続プラグを使用することでアメリカ (CCS1) / ヨーロッパ (CCS2) / 中国 (GB/T) 規格にも対応します。
- ▶ 移動式急速充電器は、様々な場所でご利用頂けます。

自動車整備工場 / マンション駐車場 / ビル駐車場 / 外車並行輸入業者 / タクシー会社 / レンタカー会社 / ホテル・旅館駐車場 / EV イベント会社 / テストコース / サーキットなど

※室外でのご利用は避けて下さい。(雨天 / 直射日光は避けて下さい。) ※本体の操作は、特定少数の方のみで行って下さい。
※本体を稼働する時は、必ず固定してご使用下さい。 ※本体には別途、送料が必要です。

No.	型式	定格出力	入力電圧 (V) ★1	出力電流 (A)	サイズ / W×D×H	重量	CCS1 / CCS2 / GBT	価格
①	JEP141320	14kW	単相3線 / AC200V	40A@DC350V	66 × 28 × 60cm	36kg	オプション	オープン
②	JEP143420	〃	3相4線 / AC200V	40A@DC350V	66 × 28 × 60cm	36kg	〃	〃
③	JEP201320	20kW	単相3線 / AC200V	55A@DC350V	66 × 28 × 60cm	41kg	〃	〃
④	JEP203420	〃	3相4線 / AC200V	55A@DC350V	66 × 28 × 60cm	41kg	〃	〃
⑤	JEP283420	28kW	3相4線 / AC200V	80A@DC350V	66 × 28 × 60cm	58kg	〃	〃
⑥	JEP303438	30kW	3相4線 / AC380V	75A@DC400V	66 × 28 × 60cm	40kg	〃	〃
⑦	JEP363438	36kW	3相4線 / AC380V	90A@DC400V	66 × 28 × 60cm	50kg	〃	〃
⑧	JEP421320	42kW	単相3線 / AC200V	120A@DC350V	66 × 28 × 90cm	85kg	〃	〃
⑨	JEP423420	〃	3相4線 / AC200V	120A@DC350V	66 × 28 × 90cm	85kg	〃	〃
⑩	JEP503438	50kW	3相4線 / AC380V	120A@DC400V	66 × 28 × 60cm	65kg	〃	〃
⑪	JEP501320	〃	単相3線 / AC200V	180A@DC350V	66 × 28 × 120cm	150kg	〃	〃
⑫	JEP503420	〃	3相4線 / AC200V	180A@DC350V	66 × 28 × 120cm	150kg	〃	〃

★1：入力電圧の誤差は±15%～20%です。

